

令和6年度 八王子市立高尾山学園小学部小学校
学力定着・向上に向けた取組計画

1 本校の実態

【第4学年】

国語科では、物語の大まかなあらすじをつかむことはできるが、語彙力が低く、細かな描写や人物の心情の変化をつかむことが難しい。算数科においては、四則計算の基礎からの練習など1～4年生までの基礎的な内容を中心に積み重ねを行っている。

【第5学年】

国語科では、語彙力が低いために、細かな描写をつかみきれないことがある。その都度、意味調べを行ったり教員が意味をおさえたりして、読み取りができるようにしている。算数科においては、四則計算の基礎からの練習など1～4年生までの基礎的な内容を中心に積み重ねを行っている。

【第6学年】

国語科では、読み聞かせや、図書活動などの読書活動に苦手さを感じている児童がいる。学年相応の漢字を読んだり、言葉の意味を理解したりはできているが、表記することに困難さを抱えている児童が多い。算数科においては、習熟度別に（6年生の学習内容を教科書に沿って、四則計算の基礎からの練習など1～4年生までの基礎的な内容を中心に）分かれて学習を進めている。

2 本校の取組方針（「はちおうじっ子ミニマム」の定着に向けた取組を含む）

- 各学年の学習指導要領の内容を基本とし、児童一人ひとりの状況に応じた指導内容を工夫し、少人数指導や個別指導を充実する。各授業時間には教科担当教諭と指導補助員を複数配置し、協力体制のもとで教材・教具を工夫し、登校刺激につなげながら指導方法の改善を図る。
- 各教科等において一人ひとりの学習状況をファイリングし、「はちおうじっ子ミニマム」の定着も意識した個別指導の充実を図る。

3 具体的な取組内容（「はちおうじっ子ミニマム」の確実な定着に向けた取組が分かるように記載）

【校内体制】

月・金曜日の授業後、火・木曜日の昼休み後の15分間を「高尾タイム」として設定し、国語力の向上を目指す。朝の10分間を朝読書の時間として設定する。また、学校司書などを活用しての読書やストーリーテリング等を実施し、学校図書の充実を図る。

【取り扱う内容】

「はちおうじっ子ミニマム」も意識した内容として、東京ベーシックドリルや八王子ベーシックドリルを活用する。

第4学年	「高尾タイム」等の時間を活用して新しく知った言葉を使って日記を書く時間を設けたり、乗法・除法の計算問題を繰り返し行ったりして、基礎学力の向上を図っている。個に応じた内容を計画し、継続的に行っていく。
第5学年	国語科では、週一回、図書の時間を設定し読書の習慣づくりを行っている。また、読んだ本の紹介などを毎回行い、読解力・表現力の向上を図っている。 算数科では、小学部全体で、学力に合わせた少人数クラスを編成し、児童一人ひとりに応じた学習を行っている。少人数のクラスの中でも学力差があるため、前の学年の学習内容の復習から始めるなど、より個々に応じた課題の設定を行っている。
第6学年	国語や算数など、Chromebook（クロムブック）内のミライシードを活用し、児童一人ひとりに応じた課題に取り組めるようにしている。 国語科では、図書活動と漢字学習を隔週で行い、言語活動に生かせるようにしている。学級活動では、児童が主体的に活動できる場面を意図的に設定し、児童同士がより多くコミュニケーションをとれるようにしたり、児童理解等に生かしたりしている。